

第219回:いやはや何とも・告げ口外交

いやはや！としか云いようがないのだが、最近「告げ口外交」という奇妙な用語が日本を徘徊している。もちろん外交用語ではない。まさかとは思ったが、念のためウィキペディアを調べてみると、告げ口外交 (Tale-bearer Diplomacy)、ちゃんとありました。日本と韓国との外交関係は戦前・戦時中の朝鮮半島にいた朝鮮人慰安婦に関する歴史問題で、謝罪や賠償を声高に要求する韓国と、日韓基本条約にて全ての問題は解決済みとするクールな日本との間で争いが絶えなかったのだが、最近業を煮やした朴槿恵大統領が、日韓以外の第三国にも口角泡を飛ばし日本の悪口を云い触らすようになり「告げ口外交」、「おばさん外交」という新語が生まれた。アメリカ人の友人に聞くと「告げ口」の英訳は難しいそうだが、よく使われるスラングは Rat だそう。Rat はネズミだが、Mouse より遥かに印象が悪く、薄汚くて、ちよろちよろ動き回って見聞きしたことをゲシュタポのように密告するイメージがネズミ (=Rat) と重なるようだ。そう聞いて腑に落ちた。

気をつけないと悪性伝染病はうつる、最近唐土の某主席までパクさんを見習って告げ口外交に血道を上げていとうから笑える。しかし Rat された国の首脳陣にはえらい迷惑だ。本年3月にドイツを訪問した習近平はベルリンで講演し、「日中戦争で日本が3500万人の中国人を死傷させ、南京事件では30万人も虐殺した」と、一方的な日本への批判を展開した。更には南京事件の際、現地にいたシーメンス社支社長で、南京攻防戦のなか中国民間人の保護に奔走したジョン・ラーベの勇気ある行動を「中国とドイツの友情を示す感動的佳話」と褒めちぎっている。シーメンス社は今も当時も世界的な軍需産業であり、ジョン・ラーベは南京におけるナチスの副支部長でもあった。もちろん日独伊の三国同盟が締結される前の「独中合作時代」の出来事であり、当時の日本とドイツは中国大陸で敵対関係にあった。第三帝国からはゼークト上級大将率いる軍事顧問団が中国に派遣されていた頃のことだ。ラーベの行動は勇敢だがナチス幹部として当然の義務を果たしたにすぎない。ナチス指導者を称賛されたメルケル首相はさぞや困っただろう。因みにむかし映画「兵隊やくざ」だったか「独立愚連隊」を観て、どうして中国兵がドイツの大型モーゼル拳銃を使用しているのか不思議に思ったことを覚えているが、三国同盟前の日本とドイツはそんな間柄であった。

習近平はドイツ訪問に先立ち、ユダヤ人のホロコースト施設を訪問したいと打診し、ドイツ政府は即座にこれを拒否した。当たり前だ、ドイツは日中間の政治問題に巻き込まれたくない以上に、未だに批判の対象となっているナチスの歴史問題を持ち出されることを毛嫌いしている。戦前の日本をナチスになぞらえ反日キャンペーンを張っている中国から「戦前のナチスと日本の残虐行為に関し共闘しましょう」と云われることがドイツ人にとっては不愉快極まりないことになぜ気付かないのか。ドイツ人が第三帝国時代の歴史を振り返り深く反省しているのは事実だが、市民の本音では、同じドイツ人でもヒトラーやヒムラー等、人道に反する罪を犯した連中と、時代に流されナチスに取り込まれてしまったゲーリング元帥や哲学者ハイデッガーたちとを同一視してはいない。ドイツにとって中国は極めて重要な輸出先であり、メルケル首相も両国間の経済的な結びつきを強化したいと考えてはいるが、国内で人権弾圧を強める中国との連携を危惧する国民感情も強く、距離間を決めかねている。そんな複雑な思いもあり、独フランクフルター・アルゲマイネ紙は、独中関係を「パートナーだが友人ではない」と、政府の本音を代弁している。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

告げ口外交に邁進する中韓両国は日本に対する高圧的な態度を改める気配がないが、そんな国がイザ鎌倉となったとき、ほんとうに強い軍事力を発揮できるのか、それを検証するには様々なアプローチが必要だが、3年前の浙江省温州市で起きた新幹線追突事故で負傷者の救出作業が続くなか、高架橋から落下した先頭車両が重機で粉々に砕かれ、土中に埋められた事例や、韓国で言えば未だ収容作業が続いているセウォル号沈没事故の政府対応が大きな参考情報となる。軍事力を行使する際に使用する兵器のスペックと数量は極めて大事だが、出動を命じる最高司令部の戦略と、現場指揮官の戦術が機能しないと最新兵器も本来の機能を発揮できないことになる。習近平主席が本当に軍事強国を目指すのであれば、荒唐無稽で何の啓蒙にもならぬ反日ドラマをやめさせたらどうだ。冷酷で好色な殺人鬼の日本軍の暴虐行為に耐えてきた主人公が堪忍袋の緒を切って、カンフーで日本軍を殲滅するとう予定調和のドラマ、むかしの日本で言えば力道山と吸血鬼ブラッシーの決戦が富国強兵の国策に役立つとは思えない。中国のネット掲示板に「なぜこんなに弱い日本軍に侵略を許したのか？」と云う皮肉たつぷりな書き込みが最近増えている。

人民解放軍の将官たちは、映画「史上最大の作戦」を観るべきだ。この映画に登場する兵士たちは実に人間的で、艦船のなかで博打に熱中する兵もいれば、アメリカに残してきた女房に彼氏ができたらしいと悩むような雑兵ばかりだ。一方、聯合軍最高指揮官のアイゼンハワー大将や、上陸指揮官のブラッドレー中將は無名の俳優がチョイ役で演じているに過ぎない。映画の主人公は82空挺師団のバンダーブート中佐（ジョン・ウエイン）、ノルマンディーに上陸する陸軍第29師団コータ准将（ロバート・ミッチャム）、同第4師団副師団長（ヘンリー・フォンダ）等の旅団長・聯隊長級の現場指揮官だ。映画はフィクションだが史実に基づいており聯隊長といえどもイザとなれば Follow me！ で先頭に立つところを中韓の指導者は見習うべきだ。

セウォル号沈没事件は極めて不幸な人災であった。韓国国民が「韓国は一流国になったというのは幻想だった。政府対応の甘さ、一目散に逃亡した乗組員、右往左往の海洋警察、火事場泥棒を働く野次馬たち、韓国は三流国だった」と嘆く気持ちはよく分かる。もし日本の事故であれば現場付近を航行中の船舶や漁船があつという間に救助に押しかけ、周辺が大小の船舶で埋め尽くされていたはずだ。船長や一等航海士等の上級船員がすたこらさつと逃げ出し、売店の店員や客室乗務員たち善意の一兵卒クラスが数多く犠牲になったとは、いやはや何とも云いようがない。半年くらい前のことだが、韓国の国会で国防省の情報本部長が「韓国と北朝鮮が戦えばどっちが勝つか？」と質問され、「米韓同盟で戦えば韓国の圧勝だが、米軍抜きだと北朝鮮が勝つ」と明言し大騒ぎになったが、海難事故がそれを証明した。（了）

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成26年5月9日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号
日本証券業協会 加入
本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040